

# 硬膜外麻酔を受けられる患者さんへ

様

硬膜外麻酔は手術に必要な範囲の痛みを取り除くものです。おもに手術中・手術後に痛みの調節をするために使用されます。

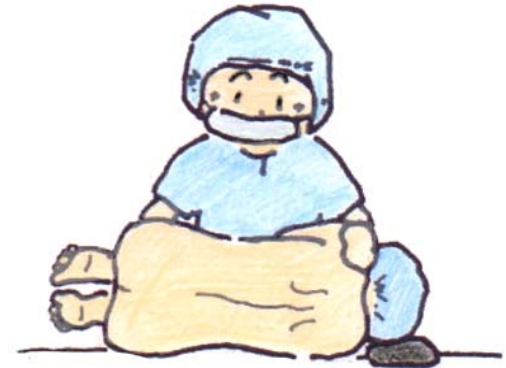
\*麻酔をするときはできるだけ**ひだり側**を下にして横向きになっていただきたいのですが、どうしても無理なときはみぎ側でもかまいません。医師・看護師がお手伝いさせていただきますがベッドがせまいので気をつけて動いていただきますようお願いいたします。

\*両足をおなかにつけるように丸くなっていただき、顔はおへそを見ていただきます。エビのように丸くなっていただくのですが、うしろ側に背中・腰をつきだすような感じで背骨と背骨の間を広げるよう意識してください。看護師が下の図のように支えます。



\*腰の消毒をした後清潔なシーツをかけ、痛み止めの注射をします。

\*途中、背中・腰が押されるような感じがありますが、話しはできますので、足に電気がはしる感じがするなどかわったこと（痛み・冷感・違和感など）があれば急に動かず、口で教えてください。



\*背中に細いチューブを残し、そこから痛み止めの薬を入れて痛みの調節をされます。

以上、硬膜外麻酔についての説明をさせていただきましたが、わからないこと・心配なことがあれば遠慮なくおたずねください。